



シンボルマーク

シルバーおやべ

第 54 号

令和 5 年 8 月 10 日

公益社団法人
小矢部市シルバー人材センター
〒932-0826
小矢部市茄子島211番地
TEL (0766) 67 - 4804
FAX (0766) 67 - 5515
<https://oyabe-sjc.jp/>



夜高あんどん祭

令和5年度 安全就業スローガン

時間の余裕は心のゆとり

早め早めで安全就業

若林地区 岡田 好子

ヨシッ!



シルバー人材センター理念

シルバー人材センターは、

《自主・自立、共働・共助》

を理念とし、会員自らが運営に参画する組織です。

会員数 336名 (男性214名・女性122名) 令和5年7月31日現在

令和5年度 受賞者の皆様おめでとうございます

受賞者の皆様の敬称は略させていただきます



富山県シルバー人材センター連合会

優良会員表彰

相浦 寅松 (石動北部地区) 王畑 笑子 (埴生地区)
※当日欠席

優良会員表彰

(後列左から)

森田 武志、牧山 政男、
成川 禎亮、高西 久文

(前列左から)

中山 隆、中村副理事長、
野澤理事長、東 正市郎

※当日欠席

松原 隆司、山森 武、中山貴美子、
前田與志廣、古林 正子、高島 崇作



安全就業スローガン表彰

最優秀賞

時間の余裕は心のゆとり 早め早めで安全就業
岡田 好子 (若林地区)

優秀賞

今一度 見直す作業手順 安全就業
高内 広 (石動東部地区)

佳作

目で確認！耳で確認！心で確認！
怠るな安全就業3本立て
上山登喜夫 (松沢地区)



(左から)

上山登喜夫、高内 広、野澤理事長、岡田 好子



令和5年度 ポイント表彰会員



高瀬恵美子	津田正治	橋本政子	細川和作	池田和之	中山憲一	吉田外茂治	渡辺茂夫	居村善次	池田勝義	馬場進	高内広	長井忠昭	田村栄子	山元一豊	山口善嗣	谷博道	中村利夫	高西久文	会員氏名
-------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	-----	-----	------	------	------	------	-----	------	------	------

※表彰基準…50ポイント以上、上位20名まで。



感謝状

山田 富雄 田村 栄子
(当日欠席)

委員会だより

会員増強・就業拡大委員会

委員長 長井 忠昭

新年度に入り、新任二人を迎え活動をしています。

役職	氏名	備考
委員長	長井 忠昭	理事
委員	野沢 弘一	理事
委員	山口 善嗣	理事
委員	山元 一豊	理事
委員	山田 操	理事
委員	高瀬恵美子	理事(新任)
委員	宮島 幸栄	理事(新任)
委員	上田 光雄	会員

活動報告

(定期)

- 毎月第2・第4月曜日
お仕事説明会(入会説明会)を開催
- 毎月第3水曜日
ハローワークにて出張相談会を開催
- 委員会
6月20日 令和5年度 第1回委員会
令和5年度会員増強・就業拡大推進事業計画について

(会員増強)

- 女性会員の増強について
女性を対象とした講習会開催の検討
・女性会員向け の講習会の実施。
(6/16に笹寿司づくり講習会を開催)

(就業拡大)

- 「くらし救援隊」事業について
高齢者世帯の困りごと等に対応。

広報・イメージアップ委員会

委員長 谷 博道

役職	氏名	備考
委員長	谷 博道	理事
委員	吉田外茂治	理事
委員	高内 広	理事
委員	山作 芳美	理事
委員	橋本 政子	会員
委員	津田 正治	会員

所掌事項

- センター事業の普及・宣伝
- 会報「シルバーおやべ」の発行
- ホームページの管理運営
- チラシ、パンフレットの作成
- 会員の福利厚生、社会奉仕活動

活動報告

- 3月 会員勧誘用チラシ作成
- 6月、7月
会報「シルバーおやべ」第54号作成作業
会員加入促進チラシ等作成(新聞折り込み)
- 8月 会報「シルバーおやべ」第54号発行(今号)
でるラジ(KNBラジオ)でのPR

今後の活動

- シルバーボランティアウォーク実施に向けて
- 市長寿連との懇談会、広報活動に向けて
- 就業開拓・発注者用リーフレット作成
※おやべ元気フェスティバルでの配布

安全管理委員会だより



安全管理委員会では、本年春より新たな委員の方を迎え「事故ゼロ」を目指して安全対策、安全パトロールを例年通り進めていきます。特に飛び石、ハチ刺され、熱中症に注意され、本年も会員の皆様には、安全・適正就業にご理解とご協力をお願いいたします。

役職	氏名	備考
委員長	高内 広	理事
副委員長	池田 和之	会員
委員	居村 善次	会員
委員	一木 順子	会員
委員	○島津 常樹	会員
委員	○田村 栄子	会員
委員	○藤井 金蔵	会員
委員	○金井 清美	会員
委員	○能村知津子	会員
委員	○中島 嘉昭	会員

○新任委員

特集 あなたのモットーは？ ～ふれあい市(よってかれ)で聞きました～

私たちシルバー会員、いろいろ人生の年輪を刻んできました。その長い人生を歩まれた中で、それなりに皆さんのモットー(信条や目標)をお持ちだと思い、7月20日(木)のふれあい市に来られた会員の方に聞きました。

あなたのモットーは何ですか？



案ずるより産むが易し
南谷地区
75歳 M.T

初志貫徹
埴生地区
76歳 M.T

嫌なことから先に取り組む
藪波地区
75歳 H.T

元気で仕事とスポーツができる
様に日々過ごしております
子撫地区
70歳 M.Y

思い立ったが吉日！すぐ実行
東部地区
H.T

継続は力なり
北蟹谷地区
68歳 N.T

健康で楽しく毎日を過ごす
東部地区
68歳 M.T

元気で過ごし作業をする
若林地区
67歳 ヨッチャン

人生は楽しく
松沢地区
62歳 C.S

貢献寿命の言葉が好きです
埴生地区
75歳 ヨッチャン

笑いのある生活
石動地区
77歳 M.W

毎日明るく笑顔で元気に過
せるよう心がけています
埴生地区
64歳 N.U

石の上にも3年
Y.M

健康第一・人に寄りそう
埴生地区
77歳 T.E

朝一番 庭掃除一日のはじまり
荒川地区
78歳 T.N

元気で友達と会って
いろいろ話合う
東部地区
77歳 T.L

毎日体が動ける事に
感謝して暮らす
埴生地区
73歳 パービー

私は楽しく仕事ができること
仕事！(人のために働く)
北蟹谷地区
78歳 H.T

何事も継続は力なり
埴生地区
73歳 T.N



コラム

私、一人暮らしの75歳、後期高齢者の仲間入りをした。娘や孫からは「じいちゃん長生きしてね」と言われるが、もうそんな年になったか。自分ではまだまだ若いつもりでいるのだが。

一病息災と言うが、自分は多病だし、この先不安がないかと言えば全くないとはいえないが、今のところ毎日のスケジュールも埋まり、日々忙しく、楽しく元気に生活している、この先もまだまだやりたいことがたくさんあり、いろいろな計画も立てているところなのだ。

私のまわりの高齢者も皆さんいきいき活動しておられる。ペタンクやゲートボールなどスポーツを楽しんでいる人、野菜づくりや教養講座などの勉強に取り組んでいる人、元気な人がたくさんいる。

ところが、マスコミなど世の中では、高齢者を厄介者のように扱い、やれ高齢者破産だの、孤独死だのと老後不安をさかんにあおり、生活がさも大変で暗いイメージを与えているように感じる。

実際ネットで「老後」と検索すると、以前問題になった老後資金2,000万円問題に始まり老後の生活費、預貯金、健康など不安をあおる記事がたくさん出てくる。2022年生命保険文化センター調べでは若い人の82%、8割が老後を不安だと回答している。その不安要素には自分が病気になる・介護が必要になる・認知症を患う・老後資金が足りないなど出ている。そりゃそのように考えれば心配にもなるだろう。しかし、そのような

不安は高齢者に限らずどの年代でもあるはずだ。それを老後老後と不安をあおるから、当の私たち高齢者は、さもひどく苦しく暗い老後生活を送っているように見られるではないか。

現役世代の方々に言いたい、老後って決して暗くはないよ。不安に感じてても仕方がないよ。そりゃお金は多ければ多いに越したことはないし、健康も永久に保てればいいが、病気や金銭不安はどの年代にでもあるだろう。くよくよ案ずるより明るく前向きに生きれば決して老後も暗くはないのだ。

最近の私の嫌いな言葉に「頑張る」がある。現役時代、その「頑張る」で、精一杯頑張ってきたつもりだ。家族のため、会社のため、出世欲もあった。しかし今はその「頑張る」から解放され「自由」なのだ。「頑張る」と言う言葉が嫌いになった。誰からも束縛されない。日々楽しい時間を持っている。

人生100年時代だからまだまだ「頑張れ」とまた発破をかけられている気がするが、それに踊らされず、老い先不明、その時その時、今日を「自由に」楽しく笑って過ごす。…アメリカの哲学者の言葉に「楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しいのだ」という言葉があるが、自由に楽しく笑ってをモットーとして生きていきたいと思う。

最後にPRを、
シルバーに入って自分の自由な時間の少しを労働に使うことにより、生きがいと小遣いの余裕になっていて、楽しい自由な生活を謳歌する一助になっている。だからシルバーを続けられる限り続けさせてもらいたいと思っている。是非同年代の未加入の方に入会を勧めたい。

藪波地区会員 H.T

会員の声

シルバー人材センターの会員になって

石動東部地区 中島嘉昭

昨年5月より会員となり、小矢部運動公園に從事して1年が過ぎました。昨年3月の新聞折込チラシを見て説明会に参加したのがきっかけでした。

折込チラシには『生きがい』『やりがい』『健康寿命に挑戦！』の文字が踊り、裏面には希望の仕事チェックリストがあり、シルバー人材センターの多様な仕事内容に、ある意味、驚きました。勝手ながら、それまでは「シルバー人材センター」響きから、庭の剪定、雪吊り、草刈り、お世話になってきておらず、場所はともあれ、自分も剪定作業を教えてもらうことになるのかなとイメージしておりましたが、折込チラシのチェックリストのお陰もあり、また担当者様からのピックアップもあり、現状の運動公園で働くチャンスに恵まれた次第です。

振り返れば、音楽業界・マスメディアに身を置き、家庭を、そして地域を顧みず、遮二無二走り続けての40年間でした。リタイア後は、憧れの僧侶（浄土真宗本願寺派）となり、また、ずっと疎かにしてきた地域の自治活動にも積極的に参加してきました。

『地域貢献』『W・p・p（継続就労 [Work Longer]、私的年金 [Private Pension]）、公的年金 [Public Pension] の頭文字をとったもの。百歳まで生活資金をもたせるために、働けるうちはできるだけ長く働き、公的年金の受給時期を繰り下げ、公的年金受給までの中継ぎ役として私的年金を取り崩すという考え方。』『地域の身近な方々との繋がり』『人に寄り添う』を、リタイア後の生業とすることに決めていましたので、憧れの僧侶を休止してでも、より身近な方々との繋がりを求めて、シルバー人材センターの門をたたいた次第です。

これからも人生の諸先輩会員の皆様の笑顔あふれる表情を糧に、シルバー人材センターという素晴らしいシステムに感謝して、人生目標の『W・P・P』の『W』のごとくずっと働き続け、一生勉強し、健康寿命を延ばし、人生を全うしたいと思えます。



あの頃、あの時コーナー

今回は副理事長中村さんに過去の思い出を語っていただきました。



Q 中村さんのお仕事のご経歴は？

A 昭和39年野々市にある東レのグループ会社東和織物に入社したのが始まりです。当時スポーツが盛んで、スポーツウェアやユニフォームなどの製造に従事しました。以来43年間同じ会社で勤め上げました。

Q いろいろご苦労があったとは思いますが、思い出に残ることはありますか？

A いろいろありますが、昭和時代の後半、世の中繊維不況で、会社も苦しくなる中、炭素繊維（グラスファイバー…飛行機や車のボディに使用）の研究、開発に携わった事でしょうか。これまでとは違う分野であり非常に苦労しました。またその後も、工場責任者として、部下とコミュニケーションをとりながら生産量UPや品質向上に取り組んだことです。

Q その中でも特筆すべきご苦労がありますか？

A 近年はあまり行われませんが、組合書記長時代ストライキを執行したことでしょうか。マスコミにまで放映されましたが、労使交渉で苦労しました。

Q 他にも思い出がありますか？

A いろいろありますが、仕事で約1ヶ月間東南アジア5カ国を視察に回ったことでしょうか。その時は仕事以外で食事や水が合わず非常に苦労したことを覚えています。

Q 定年後に野々市から小矢部に来られてシルバーに入られたとの事ですが感想は？

A シルバーに入り、遺跡の仕事、墓掃除、窓ガラスの清掃、受付業務いろいろ行い、講習会にも参加して参りました。その中でいろいろな方と交流でき非常に良かったと思っています。現在副理事長という職務にありますが、皆さんとコミュニケーションを取りながら、地域に貢献できる明るく楽しいシルバー人材センターにしたいと思っています。

全員参加で頑張りましょう。

・お忙しいところありがとうございました。

インタビュー 広報・イメージアップ委員会 谷 博道

互助会だより



会員親睦旅行会のご案内

羽黒山昇殿参拝と庄内周遊 湯野浜温泉の旅

令和5年度の互助会親睦旅行について、以下のとおり行程が決定しました！
皆様のご参加をお待ちいたしております。



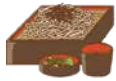
【開催日】 令和5年**10月26日(木)～27日(金)** 1泊2日

【参加費】 **39,000円** (参加人数により、参加費に増減が発生する場合があります。)

【募集人数】 **35～40名程度**

※参加申込及び詳細につきましては、後日(9月上旬頃)ご案内いたします。

10/26 (木)	貸切バス(ガイド付) 小矢部市＝小矢部東IC＝(北陸・日本海東北)＝村上瀬波IC＝サーモンハウス(昼食)＝若林家・おしゃぎり会館(見学) 7:30出発 12:00～12:45 12:50～14:00
	名勝天然記念物 こだわりの塩 樹令約400年と言われる黒松 海の守護神・龍神の寺 ＝笹川流れ(車窓)＝中浜観光物産＝念珠の松庭園(見学)＝善宝寺(参拝)＝湯野浜温泉(泊) 14:50～15:05 15:10～15:25 16:00～16:20 16:30頃
10/27 (金)	明治41年創業の漬物の老舗 ホテル＝本長漬物(見学)＝羽黒山(山伏がご案内・昇殿参拝)＝鶴岡(昼食・お買物)＝ 8:30出発 8:45～9:15 10:00～11:10 12:00～13:15
	＝朝日まほろばIC＝(日本海東北・北陸)＝小矢部東IC＝小矢部市 19:30頃



そば打ち体験会

【開催日】 令和5年8月26日(土)

午前10時開始

【場 所】 宮島そば打ち道場

※今回は打ちたてのそばを会食する予定です。



会員のつどい

【開催日】 令和5年10月11日(水)

「シルバーの日」ボランティア活動終了後

【場 所】 クロスランドおやべ(正面玄関前)

※弁当をお配りした後に解散となります。



シルバーウオーキング(ボランティアウオーキング)のご案内

ウオーキングを通して会員の健康づくりと会員相互の親睦を図るため、本年度もシルバーウオーキングを開催いたします。今年は、ボランティアも兼ねて行います。

義仲の進軍路を歩いて埴生の滝を目指そう！

【開催日】 令和5年10月14日(土)

【集合場所】 猿ヶ馬場(倶利伽羅古戦場)

【集合時間】 午前9時15分(9時30分出発)

【行程】 猿ヶ馬場～大台平～五社ヶ滝(往復)※義仲本陣跡経由(約3.5km)

【参加費】 実費相当額(昼食等)

【募集人数】 25名程度(先着)

【持ち物】 軍手、レジ袋(ゴミを入れる袋)、鎌など

【応募締切】 令和5年10月6日(金)

【申込先】 小矢部市シルバー人材センター(事務局) 電話67-4804(代)

【協力】 広報・イメージアップ委員会

※ウオーキング終了後、弁当をお配りした後に解散となります。

※先着25名です。ふるってご応募ください。
参加の申し込みやお問い合わせ等は事務局まで。

※マスクの着用(集合時)、ソーシャルディスタンスの確保等の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じて実施いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

※各行事についての申込みやお問い合わせ等は、小矢部市シルバー人材センター(事務局) 電話67-4804(代)まで。

ほのぼのコーナー

北蟹谷地区 松本 一夫 会員

アマチュア無線を通してのボランティア活動中。

昭和47年国家資格であるアマチュア無線技士の免許を取得後、沢山の方々と無線を通して交信をさせていただきました。初めて外国の方とお話した時は心臓が飛び出しそうなくらいドキドキしたのを覚えています。

無線を通して多方面にわたり活動を行ってきました。災害時には通信網の確保を優先し被災地と災害本部との通信連絡を行い、救援救助依頼避難者の方々の安否確認、山岳遭難、海上遭難、海外の災害応援にも協力してまいりました。

昨年は小矢部市制施行60周年記念PRとしまして公開運用及び子供たちによるアマチュア無線「体験臨時局」を開設、富山県総合防災訓練（クロスランドおやべ）にて非常通信訓練に参加しました。これからも出来る限り活動を行ってまいります。

現在所属団体・クラブ

- 小矢部市アマチュア無線非常通信協力会
- クロスランドおやべアマチュア無線クラブ
- 富山県アマチュア無線赤十字奉仕団、等々

小矢部市制施行60周年「体験臨時局」開設



松本さん(左)と参加者



富山県総合防災訓練にて

お知らせ

令和5年度「シルバーの日」についてのご案内

今年度は10月11日(水)に、以下の行事を開催いたします。会員の皆様のご参加をお待ちしております。なお、当日はボランティア活動がありますので、作業しやすい服装でご参加ください。

①交通安全講習会

【開始時刻】 午前9時30分
【場 所】 小矢部市農村環境改善センター



②ボランティア活動(環境美化)

【開始時刻】 午前10時00分
(①交通安全講習会終了後)
【活動場所】 小矢部市総合保健福祉センター敷地内
クロスランドおやべ(パターゴルフ場内)
小矢部市農村環境改善センター敷地内

③会員のつどい(互助会主催)

【開始時刻】 午前11時00分
(②ボランティア活動終了後)
【場 所】 クロスランドおやべ(正面玄関前)
※詳細は前頁の「互助会だより」をご確認ください。

広報・イメージアップ委員会
委員 津田 正治

3年前は、新型コロナが発生、日本中に非常事態宣言が発令され学校は休校、行動が制限されるなど大変でしたが、3年たった今年、感染症の種類も二類から五類に変更され、インフルエンザと変わらぬ扱いとなりました。しかし、新型コロナはなくなりましたが、現在も感染しております。今後、特にわれわれ高齢者にとっては各自が感染対策を行い、ワクチンの接種を受けるなど感染しないよう心がけることが大切です。シルバー人材センターについてですが、昨今会員数の伸び悩みが言われておりますが、会員以外の方からすると単なる仕事の斡旋をするところだとイメージが強いのではないのでしょうか。現実には、仕事に従事している方がほとんどです。しかし、仕事ばかりかというのと、仕事以外にも互助会では「親睦旅行」「会員のつどい」「そば打ち」などの会員同士の交流を多彩に行っており、会員になれば仕事をしていない人でも交流会に参加できます。「会員」に対する考え方を柔軟にしていただければどうかと思う次第です。友人・知人をシルバーにお誘いいただければと思います。今年も広報・イメージアップ委員として頑張りますので宜しくお願いいたします。

あとがき

小矢部市長寿会連合会より
高齢者の生きがい活動として各種事業を行っています。ほとんどの方が長寿会会員だと思えますので各種行事に積極的にご参加いただけますようお願いいたします。